

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 翔栄	代表者	黒沢 重慶	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で無理なく今までの生活が続けられるように支援します。 ・地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様に信頼される施設を目指します。 ・家庭的なぬくもりのある事業者を目指します。
事業所名	メープル仏向館	管理者	岡野 翔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	3人	人	人	人	1人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	「出来ている事」は継続「出来ない事」は改善します。運営推進会議において振り返りを行い、地域の方と共に考えていく。	前回よりも「出来ている事」は少しずつ増えてきている。引き続き、「出来ない事」を改善していく。	自己評価の状況を見ると「よくできている」「何とか出来ている」に多く分布している。事業者としても個人としても努力しているのが伺える結果で、引き続き頑張ってもらいたい。	前回と同様に「出来る事」を増やし、「出来ない事」を減らしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	現状でも面会又は見学等で来館者は多いが、今後も明るく清潔感があり入りやすい施設を維持していきます。	日に二回の清掃の時間があるために清潔感は保たれている。今後とも誰もが入りやすい施設を維持していく。	いつ来ても明るく、清潔で声をかけやすい暖かい雰囲気の魅力である。事業所の外周も清掃されており、好感がもてる。	今後とも誰もが入りやすい施設の維持のために、清潔面など衛生管理も引き続き行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域に必要とされる拠点となるため運営推進会議において活動の提案をしていく。同意を得られれば具現化していく。	施設内イベントの開催などの際は運営推進会議で提案発表の後開催している。今後とも提案をっていく。	看護師の存在やAEDの設置等は周辺住民にとって頼もしい。今後もイベントなどを通じて地域と密着して行って欲しい。	AED講習や施設内イベントの開催を引き続き行っていく、提案、同意を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者様が在住している地域の民生委員、地域資源を把握し関係を向しくする。同時に地域機関の活動やイベントに積極的参加し、連携を図る。	全ての利用者様ではないが、地域の民生委員方から情報や助言を頂いている。地域機関の活動、イベントにも参加した。	この分野はこれからも充実させて行って欲しい。利用者が暮らす地域の把握をしてほしい。本人と家族の希望を十分に聞き取ってほしい。	今後とも地域イベントには参加していく。また今以上に各地域の把握に努めたい。また本人、ご家族の希望も十分に聞き取っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域で心配な方の検討を積極的に進めていく。その為に地域連絡会に参加するとともに地域ケアプラザとの情報交換を密にする。	地域の方からの相談も有り地域ケア会議にも参加した。今後ともそのような案件があれば積極的に情報交換をしう。	民生委員とケアプラザ等との横の連携が十分に取れていると感じる。会議で話す事により円滑な情報交換、共有が可能になっている様に見受けられる。	地域の方から相談があれば困難事例であってもできる限り対応していく。

F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する。 備蓄については段階的に進めて いく。	地域の防災訓練に参加し、施設内 での訓練も行っている。又、備蓄 品についても少しずつ準備を行 っている。	事業所の防災訓練が定期的に行 われ備品も少しずつ用意してい るのは素晴らしい事だと思う。 AED も設置し使用方法の講習も 行われたのは事業所の防災意識 が高い表れだと感じる。	地域の防災訓練や施設内での防 災訓練を引き続き行っていく。
--------------------	--	---	--	----------------------------------